

楽友会通信 No.51

2012/12/15 指笛楽友会発行

b ♪♪♪♪♪♪ ♯ ♪♪♪♪♪♪ b ♪♪♪♪♪♪ ♯ ♪♪♪♪♪♪

*** 目次 ***

-頁-

1. 指笛音楽 78 周年記念 田村大三門下生による
「指笛音楽研究発表会」が開催されました ……有吉憲行 -1-
2. 指笛・発表会のプログラムと出演者の一言集(別紙) ……有吉憲行 -3-
3. シリーズ「私と指笛」指笛を覚えて以来55年 ……牛山宏隆 -3-
4. 総会・新年会のお知らせ…出欠は同封葉書でお知らせ下さい…事務局 -6-

1. 指笛音楽78周年記念 田村大三門下生による

「指笛音楽研究発表会」が開催されました

練馬文化センター小ホールにおいて、10月11日(木)17:30 に開演された田村大三先生門下生による「指笛音楽78周年記念研究発表会」が無事に終了しました。

平日夜間の開催であったためか、入場者は少なく 250 人程でした。まず最初の出演者、藤好真也さんが「虹の彼方へ」と「メリー・ウイダー」を見事に指笛演奏して下さいました。これで会場の雰囲気盛り上がりましたので、私達後続の出演者は緊張感がほぐれて演奏しやすくなりました。深く感謝いたします。

この日のプログラム内容は別紙にあるとおりです。挿入されている出演者の一言集には各人の思いが綴られています。

第二部後半での田村静海先生の歌、「初恋」「愛の讃歌」「ある晴れた日に」及びメミ・グレースさんの指笛「家路」「セレナーデ」「坂の上の雲より」も素晴らしかったです。お聴きになられたお客さんは感動されたようでした。

終りに出演者全員が舞台に立ち、「故郷」を指笛演奏して沢山の拍手を頂き幕を閉じました。

お客様はきっとお楽しみの上、満足されてお帰りになられたと思います。

今回の成功も田村ファミリーをはじめ、楽友会の皆様方と関係各位のご支援と御協力があったからこそと、お礼申し上げます。

＜事務局に寄せられたお客様の声＞

事務局にお客様から次のようなお手紙、お電話を頂戴いたしました。指笛音楽の宣伝へのご協力、発表会へのうれしいご感想、裏方へのやさしいお心づかい等などありがとうございました。

○ 先日はご案内有難うございました。皆様の日頃のご成果を楽しみに聴かせて頂きます。指笛音楽を聴いたことのない方がまだ多勢いますので、お世話になりましたお返しに宣伝させていただきます。今年も初めての方を誘いました。楽しみにしています。(練馬区 M 様)

○ チケットを有難うございました。当日は夫と聴かせていただきたいと思っております。当日は演奏もですが、ご無沙汰しております方々とお会いできますことも楽しみにしています。(新宿区 N 様)

○ 発表会のお誘いいただき、有難うございました。指笛の素晴らしさはもちろん、その発展に情熱を注ぎ、イキイキと演奏を楽しんでいらっしゃる皆様のご様子にふれ、毎回心にたっぷり栄養をいただいて帰る私達です。(世田谷区 I 様)

○ 素晴らしい指笛音楽発表会でした。門下生の方々が皆お上手になっていらっしゃるのに驚きました。またメミ・グレースさんの演奏も前にも増して冴えておりました。大三先生はさぞかし天国でお喜びのことでしょう。(練馬区 A 様)

○ 指笛音楽78周年記念研究発表会、楽しく聴かせていただきました。おぜんだてから実現まで年々ご苦労されているのでは・・・と思います。(所沢市 M 様)



2012.10.11(木) 発表会の最後に出演者全員で「故郷」を指笛演奏しました。

2. 指笛・発表会のプログラムと出演者の一言集(添付別紙)

今回の「[指笛音楽研究発表会プログラム](#)」と「[出演者の一言集](#)」は別紙として、この楽友会通信に添付して、同封されていますのでご覧ください。

一言集をお読みしますと各出演者の感謝の思い、選んだ曲への思い、指笛を奏でたい思い等が伝わってきます。

[指笛音楽研究発表会プログラム](#) <http://yubibue.net/tusin/concert2012.pdf>

[出演者の一言集](#) <http://yubibue.net/tusin/one2012.pdf>

3. シリーズ「私と指笛」 指笛を覚えて以来55年

楽友会会員 牛山宏隆

小学生・中学生の頃からハーモニカやリコーダーを吹いたり、色々の楽器を吹いたり弾いたりする事が好きでしたが、結局最後まで残ったのは指笛でした。大学に入ってからバイオリンを習いに行き、その後、尾原勝吉さん(戦前、N響の前進の交響楽団でコンサートマスターをやられていた方)の指揮するオーケストラに入団し、シンフォニーやコンチェルトを2ndバイオリンのパートで演奏してきました。大学卒業後、就職して社会人となり、このバイオリンも何回かの転勤や転居で傷んだり壊れたりしてもうどこかに行ってしまい、今は手元にはありません。

田村大三先生の指笛の演奏を初めてお聴きしたのは、昭和32年の初夏、高校に入学して間もないころでした。JR 高田馬場駅から早稲田通りを早稲田大学方向に向かって、明治通りを渡ってすぐのところに YMCA の建物があり、ここのホールでお聴きしました。この頃、このホールでは、レコードコンサートが定期的に開かれており、よく聴きに行っていました。今度は指笛の演奏会があるとの掲示がありました。指笛ってどんな楽器だろうと非常に興味があり、友達を誘って聴きに行きました。入場料は50円、聴衆は10人くらい、そんなに多くはありませんでした。

ピアノ伴奏の女性と若い男性のお弟子さん一人がご一緒でした。ピアノ伴奏の女性は奥さまだったのでしょうか。この時の田村大三先生は40代前半で、とても精悍な印象を受けました。カッコウワルツ、セロソロサ、浜辺の歌、浜千鳥などを演奏されました。カッコウワルツとセロソロサに私は大変なインパクトを受けました。兎も角指笛を覚えようと思い、この時頂いた数ページの“指笛の吹き方”という冊子を見ながら、時間があれば音を出す練習をしました。

3, 4日で音が出るようになり早速カッコウワルツとセロソロサを吹いてみようと思いました。そんなに直ぐ吹けるようなものではありませんでした。大学に入ってからオーケストラに入ってクラシックを演奏したいと思い、バイオリンだったら全ての曲を弾かせてくれるというので、バイオリンに飛びつきました。

学校を卒業し、社会人となり、山口県内の化学工場勤務となりました。仕事に専念、楽器に触れることもすることも少なくなりましたが、指笛だけは思い出したように時々吹いており、歌曲など何曲かが吹けるようになっており、職場の宴会などがあると、余興でよく吹きました。指笛を覚えてから10年目の頃、職場のバンドグループと一緒に、会社の社友会主催の文化祭で、市民館の大ホールで初めて舞台演奏をしました。指笛演奏の最初の忘れがたい思い出です。

会社を定年退職する頃、地域のカラオケ同好会に入りました。年3, 4回公民館などで発表会があり歌の3番は歌うのではなく、よく指笛を吹いたものです。

定年退職後は兎も角よく練習しました。練習場所は自宅の家の中、公民館やコミュニティセンターの音楽室、公園や国道沿いの駐車場に停めた車の中などです。朝から晩まで一日中練習したこともありました。ピアノ伴奏してくれる人もいて レストランで演奏したり、また JR 徳山駅の方から依頼があり、コンコースに演奏舞台を作って駅コンサートを開いてくれて、30分間の指笛演奏をしました。

7年前(平成17年)に、約40年間の山口県での生活に区切りをつけ埼玉県に転居してきました。さっそく指笛楽友会に入会し、田村大三先生に40数年振りにお会いしました。“昭和32年ごろ高田馬場近くの YMCA で先生の演奏をお聴きました”とお話しましたところ、“あの頃は高田馬場や池袋あたりでは度々吹いたもの、40代は一番よく指笛を吹いたものだよ。”と懐かしそうに昔のことを思い出されていました。

指笛音楽研究発表会には今年初めて出演しましたが、埼玉県への転居後は「さいたま市民音楽祭」、「見沼歌と踊りと太鼓のフェスティバル」、「春岡公民館まつり」、音楽発表会「ブリランテの会」などにて毎年指笛演奏をしてきました。最近私のまわりで、指笛を吹いてみようという人が少しずつ増えてきているように思われます。

さて、今年の研究発表会にて演奏したモーツアルトの曲ですが、モーツアルトの曲には指笛で吹ける曲が結構あると思います。音域もせいぜい2オクターブで、明るく華やかな曲がいろいろとあると思っています。フルートコンチェルトをモーツアルトは2曲を作曲していますが、第二番は音域は2オクターブ以内で、十分指笛で演奏できる曲だと思っています。

最後に、今後、若い人達に大勢指笛を覚えていただき、指笛の演奏技術をいろいろ開拓し、指笛の可能性を拡げて頂きたいと思います。そして、“将来指笛コンクールなどが開催できるようになったらいいな”などと夢んでいます。

4. 総会・新年会のお知らせ

事務局より

(1) 総会・新年会のご案内

期日：2013年(平成25年)1月14日(月)成人の日

会場：大泉学園駅南口 徒歩3分 練馬区立勤労福祉会館内

住所：東京都練馬区東大泉5-40-36 福祉会館の電話：03-3923-5511

時間：10:00～11:30 2F 音楽室で役員会及び希望者の指笛練習

時間：12:00～15:00 1F 「味三昧(あじざんまい)」電話：03-5933-3888

で総会と新年会を開催します。

会費：4,000円(予定)

出欠の連絡及び委任状：楽友会会員は同封の葉書にて出欠を、欠席する場合は委任する旨を、12月29日(土)迄に斎藤会長宛にお知らせください。

(2) 2013年の79周年記念「指笛音楽研究発表会」のご案内

同封された「出演者の一言集」の最後に表示されたとおり、来年2013年の発表会は9月21日(土)12:30 練馬文化センター(小ホール)にて開催予定されています。皆様のご参加、大勢の方々のご来場をお待ちしています。

* 編集後記 (有吉憲行)

この楽友会通信51号は78周年記念「指笛音楽研究発表会」の特集号となりました。皆様方のご協力により、予定通り12月に発行できる事に感謝致します。

牛山様には「指笛を覚えて以来55年」のお話を寄稿して頂きました。とても興味ある有益なお話でした。まことに有難うございます。

なお発表会の「プログラムと出演者の一言集」は竹中さん・武井さん・栗田さんのご努力によるものでした。厚くお礼申し上げます。

今回楽友会の皆様方、関係各位の一致協力により、78周年記念「指笛音楽研究発表会」が無事に終了できたことは喜ばしいことです。有難うございました。

これからも皆で協力して、より良い指笛楽友会へと明るく発展させましょう。